

世界の中心はアジアになる

# アジア共創学科

関西外国語大学 英語国際学部

SCHOOL OF JAPANOLOGY AND ASIAN STUDIES

2025年4月開設 (仮称・設置構想中)

定員200名

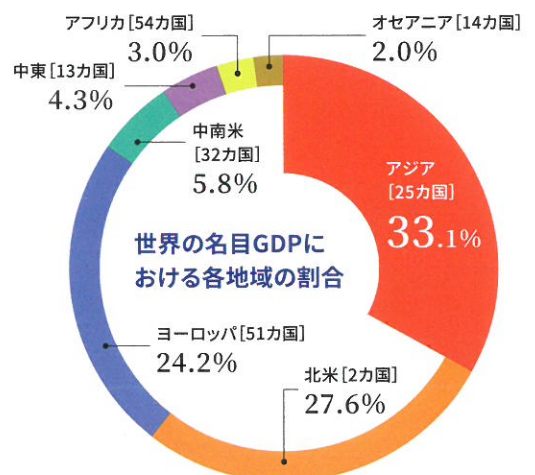
海外からの留学生含む

今、アジアの国々は急速に成長し、欧米に代わって世界経済の中心を担おうとしています。アジアの一員である日本においても、今後は周辺各国の多様な人々との相互理解や協働が欠かせません。アジア、そして世界へと目を向けるグローバルリーダーの育成をめざして、2025年4月、関西外国語大学 英語国際学部にて「アジア共創学科」が誕生します。

※ 構想概要は計画中のものであり、今後変更になる可能性があります。

## 今後求められるのは、 世界最大のアジア経済圏で活躍できる人材。

右のグラフの通り、アジア全体のGDP(国内総生産)は2020年に欧米諸国を追い抜き、今後も成長が見込まれています。一方、日本では少子化が進んで人口が減少し、国内需要が伸びにくいため、日系企業は大きな市場を求めて次々とアジアへ進出。また日本国内の人材不足により、アジア各国からの働き手を積極的に受け入れるようになりました。このような状況で必要となるのは、中国はもちろん、成長が著しい東南アジアや南アジアなども含めた地域の人々と円滑にコミュニケーションできること。共に力を合わせ、多様性の中から新たな価値を生み出す能力が求められています。



出典: IMF - World Economic Outlook Databases (2023年4月版)